

# FANTIC RACING

ファンティック・レーシング・ニュース  
2025年3月17日

## ファンティック、MXGP の表彰台に 2 台を送り込む。 新しい歴史の幕開けだ。



ヨーロッパ大陸に戻ってきた 2025 年 MXGP はスペイン・カスティーリャ・ラ・マンチャで開催された。このレースは FIM モトクロス世界選手権の歴史の新しい 1 ページを飾る、記憶に残るレースとなった。ファンティックを駆るグレン＝コルデンホフとアンドレア＝ボナコルシが表彰台を確保し、イタリアのモーターサイクルメーカーとして初めて MXGP の表彰台獲得となったのである。ブライアン＝ボガスもまたチームパフォーマンスに貢献し、この日最後のレースでは 2-3-4 位に 3 台のファンティックが連なる素晴らしい結果となった。

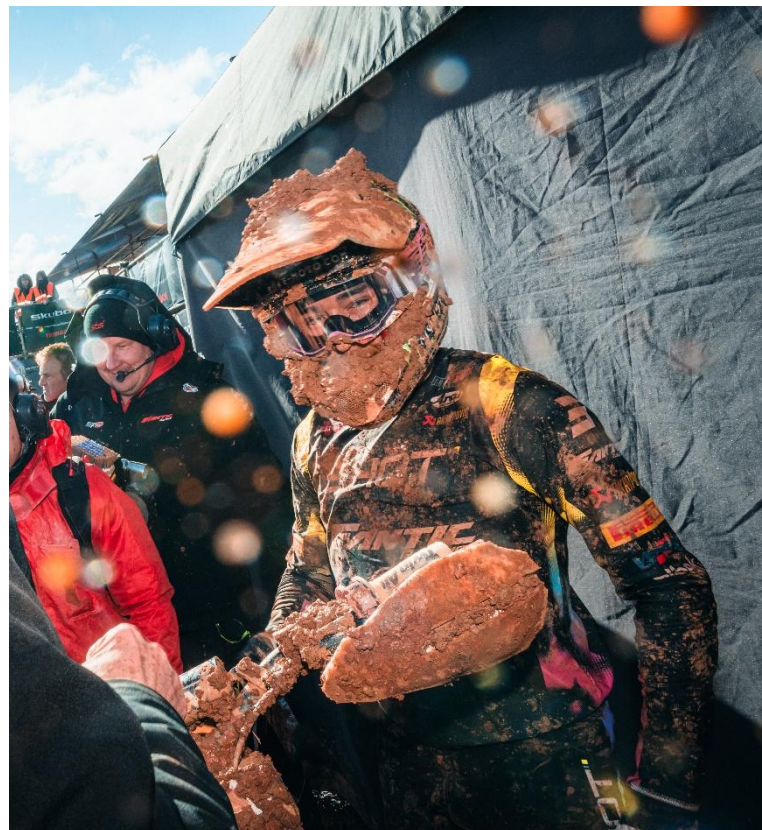
厳しい雨が続く中で開催された今シーズン最初のヨーロッパ・ラウンド、スペイン・コザールでは、トラックコンディションも厳しく、難しい戦いが予想された。しかしファンティック・レーシング MXGP のライダーたちはこの逆境をものにし、土曜日の予選レースでは2名のライダーがトップ5に食い込む好結果を見せた。4位のブライアン=ボガースと続く5位のグレン=コルデンホフは、日曜日のレースに向けて確実な手ごたえを感じていたのだ。

さらに雨が続き、文字通りのマディコンディションで迎えた決勝。スタートはこれまで以上に重要なものとなった。グレン=コルデンホフはこれを確実にものにしてスタート、オープニングラップではトップを走る快走を見せた。レース中盤から3位、最終ラップには4位に順位を落としたものの、「ザ・ホフ」はレースでの強さを示す結果を得たのである。

ブライアン=ボガースはこの難しいコースでも自信を深めていた。フリープラクティスで3位、ウォームアップで5位、予選レースで4位。レースでも行ける、と確信を持って臨んだものの、1コーナーでのクラッシュに巻き込まれ、モノとすることができなかった。だが最後尾から激しくチャージし、スタートでの大きな遅れから最後には11位に食い込んだ。レース中終始10位前後を走り、最後には8位に食い込んだチームメイトのアンドレア=ボナコルシから大きく遅れることはなかったのである。

レース2、チームライダー全員が表彰台に向けて集中力を高めていた。ファンティック・レーシング MXGP の3人のライダーは見事にこれを実践、夢のようなスタートダッシュを決め、3台のXXF450すべてがトップ6に入りレースを競ったのである。しかもこれは序盤に過ぎなかった。アンドレア=ボナコルシ、グレン=コルデンホフ、ブライアン=ボガースの3台は2位、3位、4位と続いてフィニッシュラインになだれ込み、ファンティックとして史上最高のレース結果を得るとともに、イタリアン・ブランドとして初めてのMXGPでの表彰台に立つ、という歴史に残る偉業を成し遂げたのである。総合結果でもコルデンホフは2位、ボナコルシが3位にと表彰台に上り、ブライアン=ボガースも総合7位に食い込んだのだ。

**グレン=コルデンホフ**：ファンティックは大きく進化している。去年1年を通じて本当によく働き、それを結果で示してきたんだ。僕たちライダーはこのチームと一体になってマシンを作り上げ、チームのモチベーションを背に走っている。僕は間違いなく、スタッフのエナジーを感じながら背中を押されているんだよ。マシンは最高で、僕自身、3本の最高とっていいスタートを切ることができた。これこそがこの週末のレースを左右するものってよかったからね。コースは本当にめちゃくちゃに難しかったけど、我々はやり切ったんだ。総合2位、そして僕自身ここ2年での初めての表彰台獲得と、気分は最高だ。ファンティック・チームすべてが最高で、ボナはいっしょに表彰台に登ることになったし、ブライアンもレース2では4位とペースをつかんできたからね。この調子でファンティックにとってもいい年にしていきたいね。チーム全体に感謝と、とりわけこの週末の真の勝者であるメカニックたちに感謝をささげるよ。





**アンドレア=ボナコルシ**：ちょっと言葉を失うくらい、本当にアメイジングな週末だった。だれにとってもタフな週末だったと思うけど、最終的には誰よりもハードに働いたものだけが結果を出した、ということだと思う。ファンティックが2-3位に入賞、つてのは最高にクールで、ここにいられることに感謝している。本当にいいチームと一緒に働けているんだ。グレンとブライアンが仲間なのありがたいよ。彼らは経験豊かで、学ぶことも多いからね。ファンティックの誰もが本当に力を尽くしてくれているし、ここはまさに居心地のいい家に戻ってきているような環境なんだ。本当にアメイジングさ。

**ブライアン=ボガース**：この週末はいいフィーリングだった。とりわけ土曜日の予選レースでの4位は、もちろんトラックコンディションもまだそこまで悪くなかったし、いい感じだったんだ。僕にもスピードがあることを見せることができたのもよかったね。マディでもうまく走れる自信があったし、レース2での4位で何とかそれを証明できたと思う。レース1ではクラッシュに巻き込まれて、そのあと何とか9位まで追いつけたんだけどまた転んじゃって11位だったんだ。スタートさえもっとよければ、総合順位ももっと上に行けたのに残念だよ。とはいえ、前を走れるってのは本当に気持ちがいいもんだよね。



## ファンティック・ファクトリーレーシング EMX

ヨーロッパ選手権はコザールで開幕。24年シーズンのEMX125タイトルを獲得したファンティックにとって、新しいシーズンの幕開けである。だが25年シーズンの開幕戦は全く様相が異なり、激しい降雨がトラック・コンディションを難しくし、スケジュールの変更も行われることになった。

厳しい条件下ではあったが、若きファンティック・レーシング EMX ライダーたちはレース 1 を手堅く締めくくった。フランシスコ=ベレイはファンティック XX125 をうまくスタートさせ、その後ポジションをいくつか下げたもののその後リズムをつかむと再びポジションを上げながらいいペースで先をうかがう展開となった。16歳のベレイは4位までポジションを回復した最終ラップ、ミスをしてポジションを一つ落としてしまったがまずまずの結果を得たのである。ドウエ=ファン・メクゲレンはスタート後トップ10圏内で戦い、いくつかミスも犯しながらも最終的には8位に食い込んだ。

日曜日のレース 2、終夜降り注いだ雨でコースはさらに難しいものとなっていた。スタートを決めることがレースの支配には必須条件だったが、ベレイは失敗し、中団に飲み込まれてしまう。ファン・メクゲレンはさらに悪く、2コーナーでもクラッシュに巻き込まれてコースアウト、戻ったときには最後尾となっていた。二人のライダーはレース中それでも激しく前を追い、最終的には11位と12位とに食い込む結果となった。総合順位は6位と9位。2人ともにトップ10フィニッシュとなり、ファンティック・ファクトリーレーシング EMX としてはまずまずの結果となったのである。

EMX250でのデビュー戦を過酷なコンディションで迎えることになったシモーネ=マンチーニにとっては不運の重なる週末となってしまった。レース1ではマシントラブルに見舞われ、結果を残すことができなかった。レース2では何とかスタートしたものの、7位を走行中の残り2周で運悪く弾かれた石が目撃し、転倒。何とか立ち上がり、17位でのフィニッシュとなった。かろうじてポイントは獲得したが厳しい結果となった。スペインに続いては次週のフランス戦。可能性に賭けて挑む予定だ。

**フランチェスコ=ベレイ**：満足しているとは言えないけれど、総合6位のポイントを持ち帰ることができたんだからそこは評価しないとね。このマディな状況ならもっとひどいことも起こりえたわけだし。もうちょっとよくなった気もするけれど、もっと悪かった可能性もあるからね。本当に、僕自身としてはこれまでに経験したことが無かったほどひどいコンディションだった。だから開幕戦としては、結果論だけど、まあ手堅かったといっていだろう。来週のフランスに向けてもう心は切り替わっているからね。





**ドウエ=ファン・メクゲレン:** 簡単な週末だったとは到底言えなかったけれど、この状況下ではベストな結果と  
 いうといいと思うよ。レース 1 のスタートはよかった  
 けど 1 周目に石が前腕を強くヒットして、左手の握力  
 がほとんどなくなっちゃったんだ。おかげでレース中 4  
 回も転倒するし、ひどいミスを何度も犯してしまったよ。  
 そう考えたら 8 位は上出来と  
 いういいだろう。日曜日、  
 ウォームアップでは調子よ  
 くてスタートも悪くなか  
 ったけど、第 2 コーナーで  
 他のライダーと絡んでクラ  
 ッシュしてしまったんだ。  
 最後尾から再スタートして  
 の 12 位だから、まあまあ  
 いいラップを刻めたといっ  
 ていいだろう。というわけ  
 で満足な結果ではないけれ  
 ど、状況を考えれば上出  
 来て感じだね。

**シモーネ=マンチーニ:** 不運な週末だったけど、シーズ  
 ンは長いからね。コンディ  
 ションは本当にタフで、レ  
 ース 1 は不運もあってフィ  
 ニッシュすることができな  
 かった。レース 2 は土曜日  
 よりさらにトラックコンデ  
 ションが厳しかった。それ  
 でもトップ 10 で走ること  
 ができて、7 位まで順位を  
 上げていったんだけど、泥  
 がひどすぎてゴーグルを外  
 したところに飛んできた石  
 がもろにあたったんだ。何  
 も見えなくなってしまって  
 止まらざるを得なくて、な  
 んとか 17 位でゴールする  
 のがやっとだった。いやも  
 う、この最終周はこれまでの  
 人生で最も厳しいラップだ  
 ったよ。

